

## 最上村山国有林の森林計画に関する住民懇談会 主な意見・質問

### 【国有林材の安定供給について】

- ・国の目標では、木材自給率を50%にするとしている。これを実現しようとする、次期計画の伐採量は膨大になり、民間圧迫や木材価格へ影響がでるのではないか。
- ・県内にバイオマス発電施設の建設計画があるが、この分野への国有林からの供給は増加するのか。
- ・平成25年度のシステム販売の実績は低迷し、委託販売が増えている。システム販売を拡充するとともに、年度間に大きな差のある委託販売の分量を平準化すべき。

### 【国有林野事業の収支について】

- ・国有林野事業の収入に占める事業収入の割合は低いが、1兆円の負債の返済は厳しいのではないか。

### 【安全・安心の確保に向けた取組について】

- ・7月の豪雨災害の被害状況と災害復旧対策はどうなっているか。
- ・今後も国有林では、地球温暖化防止対策に取り組むのか。

### 【森林環境教育や国民参加の森林づくりについて】

- ・野外学習で植物の名前を覚えてきた孫から教えられることがあった。子供達へ自然体験の場を提供することは重要。
- ・遊々の森で活動を行っているが、より効果的な活動となるよう指導して欲しい。

### 【民有林と国有林の連携について】

- ・共同施業団地における事業の費用負担はどうなっているのか。また、メリット、連携の具体例を聞きたい。
- ・引き続き、民有林の計画と国有林の計画を結びつけて共同施業団地の設定を進めることが重要。
- ・市町村森林整備計画の策定においても国有林のサポートを希望する。

### 【開かれた国有林について】

- ・大学演習林において地域に開かれていることに留意して計画を策定する予定。国有林においても地域に開かれたものとするのが重要。
- ・国有林の森林整備事業の発注にあたっては、一般競争入札に限定せず、地域の事業体に配慮できないか。